

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業実施計画期間	平成26年～平成30年度（5年間）																									
事業実施地区名 （都道府県名）	千曲川上流森林計画区 （長野県）	事業実施主体	中部森林管理局 東信森林管理署																									
事業の概要・目的	<p>当事業は、千曲川上流森林計画区の上田・東御・小諸・佐久市及び南佐久・北佐久・小県郡内に所在する国有林野58,780haを対象としている。</p> <p>当計画区の森林現況は、人工林52%、天然林48%となっており、このうち人工林はカラマツが人工林面積の85%を占め、次いでアカマツが8%を占めている。年間降水量が1,000mm前後と少なく、農業用水などは古来から溜め池等に依存している。また、川上村に源を発する千曲川は佐久平、善光寺平、越後平野の重要な水源となっており、国有林野面積の89%が水源かん養保安林に指定されている。このほか、上信越高原国立公園を始めとして、秩父多摩甲斐国立公園、八ヶ岳中信高原国立公園、妙義荒船佐久高原国立公園など多くの貴重な自然環境を有しており、首都圏にも近いことから、軽井沢は古くから国民の保健休養の場として利用されている。さらに、高速交通網等の整備に伴い、優れた自然景観に恵まれている湯の丸・高峰、北白樺、菅平、野辺山等の地区においても、森林を利用したスキー場や森林浴等の保健休養の場として首都圏から多くの人が訪れている。</p> <p>この地域は、郷土樹種であるカラマツ材の生産及び利用の先進地であり、カラマツを利用した木材加工業が発達していることから、国有林においてカラマツ材等の安定的な供給を通じ、地域産業の振興に寄与することが期待されている。</p> <p>このため、当事業は、計画区内の国有林野の有する水源涵養機能、山地災害防止機能や保健文化機能などの公益的機能の発揮と併せ、木材加工業の振興を図るためのカラマツ材等の安定供給の要請にも応えるべく、地球温暖化防止にも積極的に寄与するため、植栽等の更新作業、間伐等の保育作業等効率的な森林整備を積極的に推進するとともに、それに必要な路網の開設・改良等を実施するものである。その他、松食い虫、ニホンジカによる森林植生への被害が拡大していることから、被害防止対策も実施し、健全な森林を育成しつつ、公益的機能の維持増進を図ることを目的とする。</p> <table border="0" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">主な事業内容</td> <td style="width: 30%;">森林整備</td> <td style="width: 15%;">更新面積</td> <td style="width: 15%;">484ha</td> <td style="width: 20%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>7,822ha</td> <td>（うち間伐 5,890ha）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>66,825m</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td>6,240m</td> <td></td> </tr> <tr> <td>総事業費</td> <td></td> <td></td> <td>5,407,882</td> <td>千円</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	484ha				保育面積	7,822ha	（うち間伐 5,890ha）		路網整備	開設延長	66,825m				改良延長	6,240m		総事業費			5,407,882	千円
主な事業内容	森林整備	更新面積	484ha																									
		保育面積	7,822ha	（うち間伐 5,890ha）																								
	路網整備	開設延長	66,825m																									
		改良延長	6,240m																									
総事業費			5,407,882	千円																								
費用対効果分析	総便益（B）	29,274,418	千円																									
	総費用（C）	6,308,726	千円																									
	分析結果（B/C）	4.64																										
中部森林管理局事業評価技術検討会の意見	事業の必要性、効率性、有効性が認められることから、本事業を実施することが妥当と判断される。																											
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性 地球温暖化防止対策や国土の保全及び水源涵養等の公益的機能の発揮や木材の安定供給に関する地域の要請に応えるため、事業の必要性が認められる。 ・ 有効性 事業計画は、保育等の森林整備を通じ、多面的機能を発揮する健全な森林の育成に資するものであり、路網の整備についても森林整備と連携したものとなっている。加えて、木材の安定供給を行うなど山村の活性化にも資するものとなっていることから、有効な事業であると認められる。 ・ 効率性 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 																											

別紙様式7

整理番号1

便益集計表

(森林整備事業)

事業名：森林整備

都道府県名：長野

施行箇所：千曲川上流森林計画区

(単位：千円)

大区分	中区分	評価額	備考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	11,008,752	
	流域貯水便益	1,172,126	
	水質浄化便益	2,891,365	
山地保全便益	土砂流出防止便益	7,860,232	
環境保全便益	炭素固定便益	1,380,101	
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	751,199	
	木材利用増進便益	96,636	
	木材生産確保・増進便益	861,193	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	508,297	
	治山経費縮減便益	424,992	
	森林管理等経費縮減便益	456,754	
	森林整備促進便益	1,862,771	
総便益 (B)		29,274,418	
総費用 (C)		6,308,726	千円
費用便益比		$B \div C = \frac{29,274,418}{6,308,726}$	= 4.64